

【 まちの将来像3 】

みんなの”楽しい”が見つかる文化のまち

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち
施策	3-1	生涯学習の機会を増やし情報提供を充実する
施策の方向性	本市の生涯学習に関する取組の基本となる計画を策定するとともに、市民、行政、教育機関などの連携により、社会的な課題や市民ニーズに対応した多様な学習の場や機会、情報などを提供し、市民の主体的な生涯学習活動を促します。社会教育については、学校教育との連携を図りながら、これからの時代に求められる成人教育や、公民館活動の推進、図書館の機能の充実を図ります。	
★：重点プラン 該当取組	1	生涯学習推進体制の整備
	2	生涯学習についての普及啓発の推進
	3	成人教育の推進
	4	公民館活動の推進
	5	図書館サービスの充実
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-1-1		生涯学習推進体制の整備										
1	事業名	生涯学習推進事業												
	目的 及び 概要			H 28 年 度	内 容	①生涯学習事業の洗い出し・実態の把握 ②職員研修の実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
						方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	0.2	うち市負担分 (百万円)	0.2	H32 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分	ソフト	
	2	事業名	生涯学習センターきらめき講座等実施事業											
		目的 及び 概要			H 28 年 度	内 容	①きらめき、ジュニア、ボランティア講座の実施 ②ホール事業の実施 ③大学等との共催講座の実施 ④おおさかふみんネット広域講座の実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
H30 年度													継続	
H31 年度													継続	
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	61.1	うち市負担分 (百万円)	22.1	H32 年度	継続	
担当課		部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分	ソフト	
3		事業名	生涯学習参画事業											
		目的 及び 概要			H 28 年 度	内 容	①ボランティア講座の講師募集 ②各種コンサートの出演者公募 ③きらめきフェスタの実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
	H30 年度												継続	
	H31 年度												継続	
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.4	うち市負担分 (百万円)	0.4	H32 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分	ソフト	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名		天文観覧室運営事業										
目的 及び 概要	天文について分りやすく解説し自然科学の普及を図るため、プラネタリウムの投影や市民天体観望会を行う。	H 28 年度	内 容	①市立小・中学校、広報誌、市ホームページでの啓発 ②プラネタリウム投影や市民天体観望会の実施							事業の方向性の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	8.1	うち市負担分 (百万円)	7.5	H32 年度	継続		
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-1-2		生涯学習についての普及啓発の推進											
5	事業名		生涯学習センター情報提供等実施事業												
	目的 及び 概要	広報誌・市ホームページ・生涯学習情報誌「まなびどり」・出前講座等を通じて、様々な生涯学習関連情報の提供を行う。			H 28 年度	内 容	①生涯学習情報誌「まなびどり」の発行(年3回) ②生涯学習事業を集約した情報の発信 ③出前講座の実施。 ④広報誌・市ホームページでの啓発 ⑤生涯学習関連の窓口相談						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	1.3	うち市負担分 (百万円)	1.2	H32 年度	継続								
担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		
6	事業名		【再掲】生涯学習参画事業												
	目的 及び 概要	個人や団体が培った知識・経験を広く還元できる場を提供し、学習成果を活かした幅広いジャンルの学習参画機会を展開する。 【関連取組:3-1-1 生涯学習推進体制の整備】			H 28 年度	内 容	①ボランティア講座の講師募集 ②各種コンサートの出演者公募 ③きらめきフェスタの実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0.4)	うち市負担分 (百万円)	(0.4)	H32 年度	継続								
担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		
7	事業名		【再掲】生涯学習推進事業												
	目的 及び 概要	市の生涯学習施策を総合的により推進していくための方策について検討する。 【関連取組:3-1-1 生涯学習についての普及啓発の推進】			H 28 年度	内 容	①生涯学習事業の洗い出し・実態の把握 ②職員研修の実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	(0.2)	うち市負担分 (百万円)	(0.2)	H32 年度	継続								
担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-1-3		成人教育の推進											
8	事業名	社会教育事業													
	目的 及び 概要	知識の習得とともに自らの学習と実践を通じて自主的活動の充実と地域の連帯意識を高めることを目的に、各種講習会などを開催する。				H 28 年 度	内 容	①民謡踊り講習会の開催 ②識字・日本語教室の開講 ③青年による人権啓発事業の開催					事業の方向性の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	3.0	うち市負担分 (百万円)	3.0	H32 年度	継続								
担当課	部名	教育総務部		課名	社会教育振興課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				
9	事業名	社会教育関係団体育成事業													
	目的 及び 概要	社会教育関係団体の活動を促進し、社会教育の振興を図る。 社会教育関係団体等を対象としたリーダー研修、後援等により支援する。				H 28 年 度	内 容	①社会教育関係団体等リーダー研修会の開催 ②団体が行う事業への後援 ③後援事業チラシ等の庁内設置 ④茨木のこどもを守る運動への支援					事業の方向性の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.5	うち市負担分 (百万円)	0.5	H32 年度	継続								
担当課	部名	教育総務部		課名	社会教育振興課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				
10	事業名	【再掲】家庭教育支援事業													
	目的 及び 概要	家庭教育を支援するために学校と連携しながら、保護者同士が交流し学びあう家庭教育学級の開設や、家庭教育セミナー等学習機会の提供を行う。 【関連取組:2-4-2 学校・家庭・地域の連携の推進】				H 28 年 度	内 容	①家庭教育セミナーの開催 ②保護者のための講座の開催 ③親学習支援者フォローアップ研修の開催 ④親まなびおでかけ講座の開催 ⑤家庭教育学級の委託開設 ⑥家庭教育学級指導者研修会の開催					事業の方向性の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(2.6)	うち市負担分 (百万円)	(2)	H32 年度	継続								
担当課	部名	教育総務部		課名	社会教育振興課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-1-4		公民館活動の推進										
11	事業名	小学校区公民館講座等実施事業												
	目的 及び 概要	各公民館において、社会教育の場として、 地域住民のニーズに対応した文化、スポーツ などの講座等を開催し、住民の主体的な 学習活動を支援する。	H 28 年 度	内 容	①公民館講座の開催 ②講習会の開催 ③生活教育講座の開催 ④講演会の開催							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	15.8	うち市負担分 (百万円)	8.0	H32 年度	継続			
担当課	部名	教育総務部		課名	社会教育振興課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	公民館区事業補助事業												
	目的 及び 概要	地域住民の主体的な学習活動や地域活動を促進し、もって地域住民の生活文化の振興を図るため、補助金を交付する。				H 28 年度	内 容	①ふるさとまつり、文化展(祭)、地域レクリエーション、館報発行事業に対して補助金を交付 ②地域活動にとってより活用しやすいものとするため、地域行事開催等事業補助への移行も含め検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	8.9	うち市負担分 (百万円)	8.9	H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部		課名	社会教育振興課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		

13	事業名	中央公民館講座実施事業												
	目的 及び 概要	社会教育の観点から、市民の学習機会の充実を図るため、生涯学習センターを活用した少人数での学習体制による日本語読み書き学級や市民ニーズに対応する講座を開催するほか、現代的な課題、地域の課題に応じた事業にも取り組む。				H 28 年度	内 容	①日本語読み書き学級の講師謝礼について、識字・日本語教室との整合性を図るため、講師謝礼を同額とし、実施。 ②手打ちそば講座は生涯学習センターのボランティア講座へ移行。 ③源氏物語講座を廃止。 ④中央公民館としての役割を明確にし、現代的課題、地域課題に応じた事業推進について、各公民館と検討、調整の実施。					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
							方向性 (対前年度比)	縮小	事業費 (百万円)	1.2	うち市負担分 (百万円)	1.2	H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部		課名	社会教育振興課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		

14	事業名	公民館エレベーター設置事業												
	目的 及び 概要	高齢者や身障者等全ての利用者にとって、より利用しやすい施設とするために、エレベーターを設置し、バリアフリー化を図る。				H 28 年度	内 容	①設置工事(2館) ②実施設計(2館)					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	123.2	うち市負担分 (百万円)	123.2	H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部		課名	社会教育振興課		会計区分	一般		事業区分	ハード		

15	事業名	小学校区公民館維持補修事業												
	目的 及び 概要	公民館施設の利用者が安全で快適な施設利用ができるよう、また、施設の長寿命化を図るため、維持補修に努める。				H 28 年度	内 容	①各公民館施設の維持、補修の実施 ②空調設備改修の実施 ③屋上防水工事実施					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
							方向性 (対前年度比)	縮小	事業費 (百万円)	56.9	うち市負担分 (百万円)	56.9	H29 年度	拡充
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部		課名	社会教育振興課		会計区分	一般		事業区分	ハード		

取 組		3-1-5		図書館サービスの充実											
16	事業名		資料情報収集提供事業												
	目的 及び 概要	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的に、図書、視聴覚資料、データベース等記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に提供する。また読書案内やレファレンス・サービス(調べもの支援)などで、利用者と必要な資料を結びつける。	H 28 年度	内 容	①資料・情報を広く収集し、適正に管理保存し、利用者に提供を行う ②読書案内やレファレンスサービスを積極的に行い、利用者と必要な資料・情報をつなげる ③音訳・点訳・対面朗読・郵送サービス等を行い、様々な形で資料・情報提供を行う ④利用者用商用データベースの充実を図る							事業の方向性の見込み (対前年度比)			
					H29 年度		継続								
					H30 年度		継続								
					H31 年度		継続								
方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		173.5		うち市負担分 (百万円)		173.5		H32 年度		継続	
担当課	部名	教育総務部		課名	中央図書館		会計区分		一般		事業区分		ソフト		
17	事業名		図書館利用促進事業												
	目的 及び 概要	より多くの市民に利用してもらい、利用者の教養、レクリエーション等に資することを目的に、市民との協働によりさまざまな行事や取り組みを行うとともに、市民の利便性の向上のため、サービス拠点の充実など、図書館サービス網の整備を行う。	H 28 年度	内 容	①ボランティアと協働で、全館で行事・取り組みを行う(人形劇・おもちゃづくり、ライブラリフェスティバル、移動図書館を活用したイベント参加など) ②図書館職員による市民向け講座などを実施する ③北摂地域での広域利用について関係市町と調整する							事業の方向性の見込み (対前年度比)			
					H29 年度		継続								
					H30 年度		継続								
					H31 年度		継続								
方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		12.4		うち市負担分 (百万円)		12.4		H32 年度		継続	
担当課	部名	教育総務部		課名	中央図書館		会計区分		一般		事業区分		ソフト		
18	事業名		読書推進事業												
	目的 及び 概要	市域全体で乳幼児から高齢者まで、物語や読書を楽しむことができるよう、学校や関係施設、関係課と連携し、環境を整備・機会の提供を行い、読書活動を推進する。	H 28 年度	内 容	①第2次茨木市子ども読書活動推進計画に沿った取組を行う ②図書館・学校等でおはなし会を実施 ③職場体験・図書館見学を受け入れ学校との連携を図る ④高齢者施設や図書館で朗読会を実施 ⑤成人の読書活動推進 ⑥中条図書館におはなし室を増設する							事業の方向性の見込み (対前年度比)			
					H29 年度		継続								
					H30 年度		継続								
					H31 年度		継続								
方向性 (対前年度比)		拡充		事業費 (百万円)		37.7		うち市負担分 (百万円)		37.7		H32 年度		継続	
担当課	部名	教育総務部		課名	中央図書館		会計区分		一般		事業区分		ソフト		
19	事業名		図書館ICT事業												
	目的 及び 概要	ICタグの導入による資料管理の効率化やホームページの充実、Wi-Fi環境の整備などを行い、市民の利便性の向上を図るとともに、情報・資料へのアクセスを容易にする環境づくりを行う。	H 28 年度	内 容	①時代とともに変化するICTの活用を検討 ②電子書籍を導入している他市の状況を調査研究する ③予約資料受渡拠点について研究する							事業の方向性の見込み (対前年度比)			
					H29 年度		継続								
					H30 年度		継続								
					H31 年度		継続								
方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		73.8		うち市負担分 (百万円)		73.8		H32 年度		拡充	
担当課	部名	教育総務部		課名	中央図書館		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの”楽しい”が見つかる文化のまち
施 策	3-2	みんなが楽しめるスポーツ活動を推進する
施策の方向性	スポーツ関係団体等と連携し、健康増進・生きがいづくりのイベント、スポーツ教室等を開催するとともに、各自の興味や年齢、体力、技能等に応じて、誰もが気軽に生涯スポーツに親しむことができる環境を整えます。また、本市のスポーツ推進に関する取組の基本となる計画を策定します。地域スポーツ等の活動・運営を支える人材の育成や互いに協力しあえるネットワークを構築します。	
★:重点プラン 該当取組	1	多様な生涯スポーツ活動の推進
	2	スポーツ関係団体や指導者の育成
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-2-1		多様な生涯スポーツ活動の推進										
1	事業名	生涯スポーツ推進事業												
	目的 及び 概要	すべての市民がいつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現と市民の健康づくりのため、スポーツ機会の充実を図る。	H 28 年度	内 容	①競技大会等イベントの実施 ②用具の貸し出し ③スポーツイベントの追加 (球技の体験)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)
	担当課	部名	市民文化部		課名	スポーツ推進課		会計区分		一般		事業区分		ソフト
2	事業名	スポーツ施設管理運営事業												
	目的 及び 概要	市民が、市民体育館・プール・忍頂寺スポーツ公園及び運動広場等において、スポーツ・レクリエーション活動をすることにより、体力の向上と健康の増進を図る。	H 28 年度	内 容	①体育館・プール・忍頂寺スポーツ公園及びグラウンド、テニスコートの利用等の管理							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)
	担当課	部名	市民文化部		課名	スポーツ推進課		会計区分		一般		事業区分		ソフト

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-2-2		スポーツ関係団体や指導者の育成											
3	事業名		スポーツ団体・指導者育成事業												
目的 及び 概要		地域スポーツの推進やスポーツを支える人材の育成、スポーツ関係団体や老人クラブ等の地域に根ざして活動する団体、大学、企業等、関係団体との連携・協働により生涯スポーツ環境の充実を図る。				H 28 年度	内 容	①指導者への講習・研修 ②推進委員活動の支援						事業の方向性 (対前年度比)	
														H29 年度	継続
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	10.4	うち市負担分 (百万円)	10.4			
担当課	部名	市民文化部		課名	スポーツ推進課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

過去の実績計画期間中で完了、廃止した事業(当該部課名は事業実施最終年度の日付)

取 組		3-2-1		多様な生涯スポーツ活動の推進						
E1	事業名	(仮称)スポーツ推進計画策定事業(平成27年度で完了)								
	目的 及び 概要	スポーツ基本法に基づく地方スポーツ推進計画として、本市のスポーツ推進に関する計画を策定する。								
	担当課	部名	市民文化部	課名	スポーツ推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	
E2	事業名	五十鈴市民プール耐震補強改修事業(平成27年度で完了)								
	目的 及び 概要	老朽化している五十鈴市民プールを安心して快適に利用できるよう、耐震補強工事や屋内プールの内装等の改修工事を行う。								
	担当課	部名	市民文化部	課名	スポーツ推進課	会計区分	一般	事業区分	ハード	

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち
施策	3-3	文化芸術活動を支援し歴史と伝統を継承する
施策の方向性	文化振興ビジョンに基づき、市民の主体的な文化活動や交流を支援するとともに、子どもたちへの多様なアプローチを進めるなど、新しい担い手の発掘と育成を図ります。また、歴史遺産の保存と活用を推進し、拠点施設の機能充実を図り、市民の郷土愛を育むことで、歴史文化遺産を発展的に継承します	
取組 ★：重点プラン 該当取組	1	市民との協働による文化のまちづくり
	2	★ 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり
	3	★ 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成
	4	★ 歴史遺産の保存・継承
	5	郷土への愛着心とブランド形成
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-3-1		市民との協働による文化のまちづくり											
1	事業名	【再掲】吹奏楽団・少年少女合唱団育成活動事業													
	目的 及び 概要	本市の音楽文化の振興と青少年の健全育成を図ることを目的に、吹奏楽や合唱において市民の音楽活動の充実に努めるとともに音楽文化の向上を図る。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】				H 28 年度	内 容	①吹奏楽団・少年少女合唱団の定期演奏会の開催					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(3.5)	うち市負担分 (百万円)	(3.5)	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
2	事業名	【再掲】文化振興事業													
	目的 及び 概要	文化関係団体や文化振興財団と連携して芸術文化に関係する事業を実施することにより、広く市民文化の向上を図るとともに文化関係団体の活動を促進させる。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H 28 年度	内 容	①美術展等の各種文化事業の開催 ②文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委員会との連携					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(93.2)	うち市負担分 (百万円)	(93.2)	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
3	事業名	【再掲】市立ギャラリー運営事業													
	目的 及び 概要	美術作品を展示することにより市民の美術に関する創作及び鑑賞活動を促進し、美術を通じて市民文化の振興を図る。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】				H 28 年度	内 容	①ギャラリーの運営及び企画展の開催					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(5.8)	うち市負担分 (百万円)	(1.8)	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	文化芸術振興補助事業												
	目的 及び 概要	伝統芸能の保護、若手芸術家の育成支援 など、文化芸術の振興につながる取組みを 行う事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる ・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術 の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブラン ド形成】			H 28 年度	内 容	①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員 会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事 業に対し補助金を交付						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.8	うち市負担分 (百万円)	0.8	H32 年度	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
5	事業名	【再掲】若手芸術家育成事業												
	目的 及び 概要	若手芸術家の発表の場を提供することにより、全 国や世界で活躍する次代の芸術家を輩出し、芸 術文化都市として茨木市のさらなる発展を図る。 また、運営については、市内の若手芸術グルー プと市の協働による実行委員会形式で実施す る。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つ ながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担 い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形 成】			H 28 年度	内 容	①若手芸術家の作品を公共施設等に設置、展示 し、関連イベントを開催 (HUB-IBARAKI ART PROJECT)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(3)	うち市負担分 (百万円)	(3)	H32 年度	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-3-2		★ 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり										
6	事業名		福祉文化会館・市民総合センター運営事業											
	目的 及び 概要	市民福祉の増進及び文化教養の向上を図り、文化団体や文化振興財団が文化芸術に関する事業を実施する拠点となる施設を運営する。			H 28 年度	内 容	①2館の維持管理及び指定管理 (平成27年12月末に市民会館閉館)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													方向性 (対前年度比)	縮小
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
7	事業名		【再掲】吹奏楽団・少年少女合唱団育成活動事業											
	目的 及び 概要	本市の音楽文化の振興と青少年の健全育成を図ることを目的に、吹奏楽や合唱において市民の音楽活動の充実に努めるとともに音楽文化の向上を図る。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】			H 28 年度	内 容	①吹奏楽団・少年少女合唱団の定期演奏会の開催						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													方向性 (対前年度比)	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名	市立ギャラリー運営事業													
	目的 及び 概要	美術作品を展示することにより市民の美術に関する創作及び鑑賞活動を促進し、美術を通じて市民文化の振興を図る。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】				H 28 年度	内 容	①ギャラリーの運営及び企画展の開催				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.8	うち市負担分 (百万円)	1.8	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

9	事業名	【再掲】文化振興事業													
	目的 及び 概要	文化関係団体や文化振興財団と連携して芸術文化に関係する事業を実施することにより、広く市民文化の向上を図るとともに文化関係団体の活動を促進させる。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H 28 年度	内 容	①美術展等の各種文化事業の開催 ②文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委員会との連携				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(96.2)	うち市負担分 (百万円)	(96.2)	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

10	事業名	【再掲】文化芸術振興補助事業													
	目的 及び 概要	伝統芸能の保護、若手芸術家の育成支援など、文化芸術の振興につながる取組を行う事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H 28 年度	内 容	①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事業に対し補助金を交付				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0.8)	うち市負担分 (百万円)	(0.8)	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

11	事業名	【再掲】若手芸術家育成事業													
	目的 及び 概要	若手芸術家の発表の場を提供することにより、全国や世界で活躍する次代の芸術家を輩出し、芸術文化都市として茨木市のさらなる発展を図る。また、運営については、市内の若手芸術グループと市の協働による実行委員会形式で実施する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H 28 年度	内 容	①若手芸術家の作品を公共施設等に設置、展示し、関連イベントを開催 (HUB-IBARAKI ART PROJECT)				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(3)	うち市負担分 (百万円)	(3)	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

12	事業名		◎ まちなかアートツアー											
	目的 及び 概要	市内に設置されている彫刻や絵画等の芸術作品を市民に知ってもらうことにより、文化芸術を身近に感じてもらう機会とするため、「まちなかアートツアー」を実施する。			H 28 年度	内 容	①市内のアートマップを活用し、市内の芸術作品を巡って鑑賞する「まちなかアートツアー」を実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H32 年度	継続							
担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
13	事業名		富士正晴記念館事業											
	目的 及び 概要	寄託を受けた郷土の作家である富士正晴氏に関する資料の収集・整理・保存を行い、資料整理報告書の刊行や、整理資料の公開、講演会(年1回)を実施する。			H 28 年度	内 容	①富士正晴に関する資料の収集・整理・保存・報告書の作成 ②富士正晴の絵はがきの販売 ③ミュージアムネットワークに参加し、記念館の周知を図る ④講演会の開催 ⑤企画展の開催						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2.0	うち市負担分 (百万円)	2.0	H32 年度	継続							
担当課	部名	教育総務部		課名	中央図書館		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-3-3		★ 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成											
14	事業名		吹奏楽団・少年少女合唱団育成活動事業												
	目的 及び 概要	本市の音楽文化の振興と青少年の健全育成を図ることを目的に、吹奏楽や合唱において市民の音楽活動の充実に努めるとともに音楽文化の向上を図る。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】			H 28 年度	内 容	①吹奏楽団・少年少女合唱団の定期演奏会の開催						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
		担当課			部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト		
			方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	3.5	うち市負担分 (百万円)	3.5	H32 年度	継続					
15	事業名		◎ 文化振興事業												
	目的 及び 概要	文化関係団体や文化振興財団と連携して芸術文化に関係する事業を実施することにより、広く市民文化の向上を図るとともに文化関係団体の活動を促進させる。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】			H 28 年度	内 容	①美術展等の各種文化事業の開催 ②文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委員会との連携						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
		担当課			部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト		
			方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	93.2	うち市負担分 (百万円)	93.2	H32 年度	継続					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	事業名 川端康成文学館運営事業											
	目的 及び 概要	多くの市民に川端文学に親しんでもらう拠点として、川端康成ゆかりの資料の展示を行うことにより、教養を高め、市民文化の向上に寄与する。 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】	H 28 年度	内 容	①川端康成文学館の運営及び常設展示、企画展の開催、併設ギャラリーでの企画展を開催 ②(臨)川端康成文学館空調設備修繕						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H29 年度	継続
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	31.5	うち市負担分 (百万円)	30.9	H32 年度	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
17	事業名 【再掲】文化芸術振興補助事業											
	目的 及び 概要	伝統芸能の保護、若手芸術家の育成支援など、文化芸術の振興につながる取組みを行う事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】	H 28 年度	内 容	①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事業に対し補助金を交付						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H29 年度	継続
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0.8)	うち市負担分 (百万円)	(0.8)	H32 年度	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
18	事業名 ◎ 若手芸術家育成事業											
	目的 及び 概要	若手芸術家の発表の場を提供することにより、全国や世界で活躍する次代の芸術家を輩出し、芸術文化都市として茨木市のさらなる発展を図る。また、運営については、市内の若手芸術グループと市の協働による実行委員会形式で実施する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】	H 28 年度	内 容	①若手芸術家の作品を公共施設等に設置、展示し、関連イベントを開催 (HUB-IBARAKI ART PROJECT)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H29 年度	継続
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	3.0	うち市負担分 (百万円)	3.0	H32 年度	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-3-4		★ 歴史遺産の保存・継承											
19	事業名	千提寺菱ヶ谷遺跡史跡整備事業													
	目的 及び 概要	千提寺菱ヶ谷遺跡の歴史的資産としての価値を評価するために調査を行い、北部地域活性化の一つの拠点としても活用するため、史跡指定に向けて取り組む。 【関連取組:5-6-4 市北部地域の魅力向上】				H 28 年度	内 容	①埋蔵文化財確認調査 323万円 ②科学分析 44万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続	
													H30 年度	完了	
													H31 年度	-	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	3.7	うち市負担分 (百万円)	1.9	H32 年度	-	
担当課	部名	教育総務部			課名	社会教育振興課		会計区分	一般		事業区分	ハード			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

20	事業名	◎ キリシタン遺物史料館展示充実事業												
	目的 及び 概要	貴重なキリシタン遺物の収集保存及び国の重要文化財の展示公開を図り、遺物の修復や複製品製作、海外からの来館者に向けたPR映像を制作。			H 28 年度	内 容	①(公財)大阪府文化財センター保管資料等(千提寺地区発掘調査出土品)の移管及び運搬委託114万円 ②高解像度撮影による史料保存及び複製品製作(絵画系遺物7点) 107万円				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2.3	うち市負担分 (百万円)	2.3	H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	完了
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
21	事業名	歴史的建造物等保存活用推進事業(神社・寺院など)												
	目的 及び 概要	歴史的建造物の代表的なものとして神社(81社うち式内社11社)や寺院(105寺)が数多く存在し、本市の風土・文化・景観を形成していることから、市民が歴史的建造物等について理解を深め、地域での保存と活用の取り組みを実行できるよう調査・啓発を行う。			H 28 年度	内 容	①(臨)歴史的建造物調査 82万円 ②出前講座				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.9	うち市負担分 (百万円)	0.9	H29 年度	継続
													H30 年度	臨時 拡充
													H31 年度	完了
													H32 年度	-
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
22	事業名	文化財保護啓発事業												
	目的 及び 概要	文化財資料等の調査・保存指導及び歴史・文化財に関する情報の積極的な発信により、市民の歴史文化意識の高揚及び郷土愛の醸成を図り、文化財の保護・啓発を推進する。			H 28 年度	内 容	①各種展示(テーマ展・企画展・コーナー展)の充実 ②文化財案内説明板設置 ③文化財専門研修 ④資料収集のガイドライン作成のための調査・研究 ⑤竜王山に関する調査・研究				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	5.7	うち市負担分 (百万円)	5.7	H29 年度	拡充
													H30 年度	拡充
													H31 年度	拡充
													H32 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
23	事業名	史跡郡山宿本陣管理事業												
	目的 及び 概要	国史跡である郡山宿本陣(樺の本陣)の保存管理計画策定も視野に入れた適切な維持管理による保存に努め、公開事業を通じて市民が歴史遺産の理解と関心を深めることを目的とする。			H 28 年度	内 容	①郡山宿本陣運営及び施設維持管理				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	6.2	うち市負担分 (百万円)	6.2	H29 年度	臨時 拡充
													H30 年度	臨時 拡充
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

24	事業名 市内遺跡調査内業整理事業											
	目的 及び 概要	発掘調査成果の公開活用を推進するため、年次計画をもとに未整理の調査記録等を整理し埋蔵文化財の啓発等を行う。	H 28 年度	内 容	①市内遺跡調査・内業整理業務委託 1,761万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H29 年度	継続
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	17.7	うち市負担分 (百万円)	17.7	H32 年度	継続
担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
25	事業名 埋蔵文化財出土品保存活用推進事業											
	目的 及び 概要	発掘調査による出土品の適正な保存及び活用を図るため、収蔵庫建設を含め分散保管している収蔵庫のあり方や活用方法を研究し、文化財の活用を推進する。	H 28 年度	内 容	①出土遺物台帳等整理作成業務委託 1,599万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H29 年度	継続
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	16.0	うち市負担分 (百万円)	8.6	H32 年度	継続
担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
26	事業名 市史収集資料保存活用事業											
	目的 及び 概要	市域の歴史資料を市民の共有財産として後世に引き継ぐことを目的に、市史編さん過程で調査収集した史料の保存・活用を図る。 また史料調査を継続するとともに、原本保存の観点から散逸の恐れのある史料の収集、分散して保管している古文書を一括管理し、歴史公文書としてその保護につとめるとともに、市民の意識を高めるため講習会・講演会などを行う。	H 28 年度	内 容	①地域史料調査の継続 ②市史刊行後の史料整理 ③資料目録、システムの整備 ④資料活用方法の検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H29 年度	継続
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	18.1	うち市負担分 (百万円)	18.1	H32 年度	継続
担当課	部名	企画財政部	課名	まち魅力発信課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-3-5		郷土への愛着心とブランド形成											
27	事業名		【再掲】川端康成文学館運営事業												
目的 及び 概要		多くの市民に川端文学に親しんでもらう拠点として、川端康成ゆかりの資料の展示を行うことにより、教養を高め、市民文化の向上に寄与する。 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】			H 28 年度	内 容	①川端康成文学館の運営及び常設展示、企画展の開催、併設ギャラリーでの企画展を開催 ②(臨)川端康成文学館空調設備修繕						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)
担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

28	事業名【再掲】文化芸術振興補助事業												
目的 及び 概要	伝統芸能の保護、若手芸術家の育成支援など、文化芸術の振興につながる取組みを行う事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】			H 28 年度	内 容	①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事業に対し補助金を交付						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
	方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0.8)	うち市負担分 (百万円)	(0.8)	H32 年度	継続					
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

29	事業名【再掲】若手芸術家育成事業												
目的 及び 概要	若手芸術家の発表の場を提供することにより、全国や世界で活躍する次代の芸術家を輩出し、芸術文化都市として茨木市のさらなる発展を図る。また、運営については、市内の若手芸術グループと市の協働による実行委員会形式で実施する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】			H 28 年度	内 容	①若手芸術家の作品を公共施設等に設置、展示し、関連イベントを開催 (HUB-IBARAKI ART PROJECT)						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
	方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(3)	うち市負担分 (百万円)	(3)	H32 年度	継続					
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

30	事業名【再掲】文化振興事業												
目的 及び 概要	文化関係団体や文化振興財団と連携して芸術文化に関係する事業を実施することにより、広く市民文化の向上を図るとともに文化関係団体の活動を促進させる。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】			H 28 年度	内 容	①美術展等の各種文化事業の開催 ②文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委員会との連携						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
	方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(93.2)	うち市負担分 (百万円)	(93.2)	H32 年度	継続					
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち
施策	3-4	観光資源の活用と創出で魅力あるまちづくりをすすめる
施策の方向性	茨木市の自然、歴史、文化、地域で生み出される特産品など豊富で魅力的な観光資源を最大限に活用し、市内外の人が訪れて「楽しい」と思ってもらえるよう、観光資源をつなぐ取組を推進します。さらに、観光協会と連携し、幅広い年代に応じた効果的な情報発信を行い、わがまちに誇りを持てる、観光をいかしたまちづくりを進めます。	
★：重点プラン 該当取組	1	★ 観光資源の発掘とネットワーク化の推進
	2	観光情報の発信を強化
	3	★ 官民協働で観光事業を推進
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-4-1 ★ 観光資源の発掘とネットワーク化の推進											
1	事業名	観光あるき事業											
	目的 及び 概要	阪急京都線沿線において、沿線自治体と鉄道事業者が実行委員会を作り、地域の魅力を発信していくことを目的とし、「阪急京都線沿線観光あるき」のPR事業やイベント等を行う。			H 28 年度	内 容	①パンフレット作成等によるPR事業、ウォーキングイベント事業、沿線でのイベント等を行う。 ②参加者数の増加を図るため、コースの見直しを行う。				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.2	うち市負担分 (百万円)	0.2	H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分		ソフト		
2	事業名	大阪ミュージアム関係事業											
	目的 及び 概要	大阪のまち全体をミュージアムに見立て、魅力的な地域資源を発掘・再発見すること等によりまちの魅力を内外に発信することを目的とし、本市にある魅力的な地域資源を大阪ミュージアム登録物として登録し、登録物を活用した観光推進を行う。			H 28 年度	内 容	①おおさか都市魅力・観光ネットワーク会議・意見交換会(三島・豊能ブロック)への参加。				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分		ソフト		
3	事業名	【再掲】資源活用・地域経済活性化実態調査実施事業											
	目的 及び 概要	市内経済の活性化を図るため、市民及び市外在住者を対象に本市のイメージ調査等を実施し、現状の把握・分析、課題抽出を行う。 【関連取組:3-4-2 観光情報の発信を強化】 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】			H 28 年度	内 容	①実態調査の実施				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
						方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(6.3)	うち市負担分 (百万円)	(6.3)	H29 年度	拡充
												H30 年度	拡充
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分		ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		3-4-2		観光情報の発信を強化											
4	事業名 【再掲】観光推進事業														
	目的 及び 概要	観光振興を図り地域を活性化するため、市内の観光情報の発信を行うほか、各種観光事業を実施している観光協会に補助金を交付し自主的な運営を支援するとともに、連携を図りながら事業を推進する。 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】				H 28 年 度	内 容	①ホームページ等で観光情報の発信 ②観光協会に補助金を交付						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
														H29 年度	継続
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(10.5)	うち市負担分 (百万円)	(10.5)	H32 年度	継続								
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分	ソフト			
5	事業名 【再掲】地域魅力アップイベント創出育成事業														
	目的 及び 概要	観光の振興及びブランド化を促進するため、観光客の誘致及び市の知名度向上に資するイベントを実施する事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】				H 28 年 度	内 容	①茨木市産業振興アクションプラン推進委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、採択事業に対し補助金を交付						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
														H29 年度	継続
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(6)	うち市負担分 (百万円)	(6)	H32 年度	継続								
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分	ソフト			
6	事業名 【再掲】資源活用・地域経済活性化実態調査実施事業														
	目的 及び 概要	市内経済の活性化を図るため、市民及び市外在住者を対象に本市のイメージ調査等を実施し、現状の把握・分析、課題抽出を行う。 【関連取組:3-4-1 観光資源の発掘とネットワーク化の推進】 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】				H 28 年 度	内 容	①実態調査の実施						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
														H29 年度	拡充
														H30 年度	拡充
														H31 年度	継続
方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(6.3)	うち市負担分 (百万円)	(6.3)	H32 年度	継続								
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分	ソフト			

2 実施計画

取 組		3-4-3		★ 官民協働で観光事業を推進											
7	事業名 ◎ 観光推進事業														
目的 及び 概要		観光振興を図り地域を活性化するため、市内の観光情報の発信を行うほか、各種観光事業を実施している観光協会に補助金を交付し自主的な運営を支援するとともに、連携を図りながら事業を推進する。 【関連取組:3-4-2 観光情報の発信を強化】				H 28 年 度	内 容	①ホームページ等で観光情報の発信 ②観光協会に補助金を交付						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
														H29 年度	継続
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	10.5	うち市負担分 (百万円)	10.5	H32 年度	継続		
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分	ソフト			

8	事業名	茨木フェスティバル事業													
	目的 及び 概要	市民意識の高揚とみんなの郷土づくりを推進し、市民の連帯感を高めるため、市・商工会議所・観光協会・青年会議所の4者協働で構成する茨木フェスティバル協会によりイベントを開催する。				H 28 年度	内 容	①南北グラウンド等でのイベントなどを、7月下旬の土・日曜日に開催する。					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	11.0	うち市負担分 (百万円)	11.0	H29 年度	継続
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分		ソフト				

9	事業名	イルミネーション設置事業(ソフト)													
	目的 及び 概要	明るくにぎわいのあるまちづくりによる観光振興のため、イルミネーションによる装飾を行う。				H 28 年度	内 容	①市・観光協会・商工会議所・青年会議所・商業団体連合会による実行委員会を組織し、年末にJR茨木駅、阪急茨木市駅等でイルミネーションや関連イベントを実施					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	26.1	うち市負担分 (百万円)	26.1	H29 年度	継続
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分		ソフト				

10	事業名	地域魅力アップイベント創出育成事業													
	目的 及び 概要	観光の振興及びブランド化を促進するため、観光客の誘致及び市の知名度向上に資するイベントを実施する事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-4-2 観光情報の発信を強化】				H 28 年度	内 容	①茨木市産業振興アクションプラン推進委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、採択事業に対し補助金を交付					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	6.0	うち市負担分 (百万円)	6.0	H29 年度	継続
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分		ソフト				

11	事業名	資源活用・地域経済活性化実態調査実施事業													
	目的 及び 概要	市内経済の活性化を図るため、市民及び市外在住者を対象に本市のイメージ調査等を実施し、現状の把握・分析、課題抽出を行う。 【関連取組:3-4-1 観光資源の発掘とネットワーク化の推進】 【関連取組:3-4-2 観光情報の発信を強化】				H 28 年度	内 容	①実態調査の実施					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	6.3	うち市負担分 (百万円)	6.3	H29 年度	拡充
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分		ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの”楽しい”が見つかる文化のまち
施 策	3-5	都市間の交流と国際化をすすめる
施策の方向性	国内外の姉妹都市を中心とした市民レベルの交流を促し、他地域の文化の理解を深めるとともに、さまざまな分野での文化活動の交流を図ります。さらに、市民の異文化理解活動を支援し、国籍を超えた多彩な交流を進めます。	
取 組 ★:重点プラン 該当取組	1	都市間交流の促進
	2	地域国際化を推進するための環境整備
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-5-1		都市間交流の促進										
1	事業名	姉妹都市等との交流事業												
	目的 及び 概要	海外や国内の姉妹都市等との市民レベル かつ、さまざまな分野での交流を促し、他地 域の文化の理解を深める。	H 28 年 度	内 容	①海外や国内の各姉妹都市等との人的交流(キャン プ交流等)やその他の交流(絵画・書の交換等) の実施 ②国内姉妹都市への宿泊費用補助制度の実施 ③茨木フェスティバル・農業祭での姉妹都市ブース の受け入れ							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H29 年度	継続	
												H30 年度	臨時 拡充	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	臨時 拡充	
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
2	事業名	茨木市国際親善都市協会補助事業												
	目的 及び 概要	姉妹都市等との交流や、在日外国人・留学 生との交流事業を実施する茨木市国際親 善都市協会の活動を支援する。 【関連取組:3-5-2 地域国際化を推進する ための環境整備】	H 28 年 度	内 容	①姉妹都市等への市民訪問団の派遣や、英語ス ピーチ大会、在日外国人と市民との交流イベン ト等 を実施する茨木市国際親善都市協会への補助							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		3-5-2		地域国際化を推進するための環境整備											
3	事業名		【再掲】茨木市国際親善都市協会補助事業												
	目的 及び 概要	姉妹都市等との交流や、在日外国人・留学生との交流事業を実施する茨木市国際親善都市協会の活動を支援する。 【関連取組:3-5-1 都市間交流の促進】				H 28 年度	内 容	①姉妹都市等への市民訪問団の派遣や、英語スピーチ大会、在日外国人と市民との交流イベント等を実施する茨木市国際親善都市協会への補助					事業の方向性の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(2.4)	うち市負担分 (百万円)	(2.4)	H32 年度	継続		
担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	地域国際化推進事業											
目的 及び 概要		市内で生活する外国人が生活しやすいよう、市民ハンドブック等の刊行物の多言語化や、英語対応可能な職員の配置などを行い、外国人も日本人も共に生活できる環境づくりを行う。	H 28 年度	内 容	①多言語版の市民ハンドブックについて、現行のものより充実したものを作成するなど、在住外国人への情報提供に努める。						事業の方向性の見込み (対前年度比)		
											H29年度	拡充	
											H30年度	継続	
											H31年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	0.7	うち市負担分 (百万円)	0.7	H32年度	継続	
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。